



### 第3 監査の着眼点

#### 1 想定されるリスクからの着眼点

事務事業におけるリスクについて事前調査でのリスク評価や聞き取りにより設定した。

- (1) リスク評価チェックリストの検証
- (2) 職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク
- (3) コロナ禍における業務の知識や経験の継承におけるリスク

#### 2 3E（経済性、効率性、有効性）・合規性等の視点からの着眼点

事務事業の合規性や正確性のみならず、経済性、効率性、有効性の視点等から設定した。

### 第4 監査結果

上記の着眼点に基づき監査を行った結果、次のとおり、内在するリスクや事務の一部に是正又は改善を要するものなどが見受けられた。今後の事務執行にあたっては、これらに十分留意するとともに、その措置を講じるよう要望する。

なお、措置を講じたときは、遅滞なく報告されたい。

#### 1 想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査の結果

##### (1) リスク評価チェックリストの検証

リスク評価調査においては、支出事務、契約事務、財産管理等において点数が高く、全体的にもリスクは高い評価となった。事前調査の結果、支出事務、物品・備品管理について、一部事務処理誤りが見受けられた。

リスク評価チェックリストの該当項目

(評点が4点以上又はリスクの発現が見られたもの：発現していた場合 ○)

チェック項目		想定されるリスク	評点	発現
所属の主要な事務事業	事業を行っているか	評価・見直しが行われず、効果のある事業が実施されないリスク	4 / 4	
支出事務	歳出予算の執行を行っているか	不適切な金額での支出、支出相手方の誤り、支払遅延など支出が適正に行われないリスク	6 / 6	○
	負担金、補助金又は交付金を支出しているか	補助金等が不適正に支出され、又は目的外に使用されるリスク	4 / 4	

契約事務	事業者と業務委託の契約を締結しているか	事業者選定、金額決定、委託業務の管理や評価が適切に行われないリスク	4 / 4	
	単独随意契約の方法により工事請負若しくは修繕又は業務委託の契約を締結しているか	事業者選定、金額決定等が適切に行われないリスク	4 / 4	
	指定管理者制度を導入しているか	事業者選定、金額決定、委託業務の管理や評価が適切に行われないリスク	4 / 4	
	プロポーザルによる契約を締結しているか	事業者選定、金額決定等が適切に行われないリスク 委託事業の仕様が不明確なものになり事業目的が達成されないリスク	4 / 4	
財産管理	土地若しくは建物又は公の施設を所管しているか	土地、建物、施設が安全に使用できないリスク 保有コストに見合う効果がないリスク 有効活用されないリスク	4 / 4	
	土地又は建物の貸付けを行っているか	多額の損失発生リスク 不適正な貸付料となっているリスク 資産が不適正又は目的外に使用されるリスク	4 / 4	
組織・人員	在籍年数の短い職員が多い課	所属において業務に必要なスキルが継承されず、業務の処理誤りや、不正行為の見落としが発生するリスク	4 / 4	
	多くの時間外勤務を行っているか	時間外勤務により、職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク 業務量に対し職員数が不足することにより、業務が停滞するリスク	4 / 4	○

(評点/リスク最大時評点)

## (2) 職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク

- ◆ワーク・ライフ・バランスを推進するため、業務の効率化や休暇取得の促進、時間外勤務の縮減等の職員の働き方の改善がなされているか。

### リスク発現の可能性（○予防策あり、△可能性あり、×発現）

- × 時間外勤務対象職員7人に対して、3人が年間360時間(\*1)を超える時間外勤務を行っていた。

また、厚生労働省が定める過労死の労災認定基準(\*2)を上回る時間外勤務を行っている職員も見受けられたが、当職員は新型コロナウイルス感染症への対応のために保健所の兼務発令を受けており、そのために時間外勤務が過大となっていたものである。令和3年度後半には、保健所への全庁的な応援体制が整うことで、こうした状況は改善されつつある。

\*1 「四日市市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する規則」において、1年の時間外勤務の上限は、原則として360時間以内と規定されている。

\*2 過労死の労災認定基準：発症前1か月間に概ね100時間又は発症前2か月間ないし6か月間にわたって、1か月あたり概ね80時間を超える時間外労働を過重業務の評価の目安としている。

## 意見

時間外勤務が年間360時間を超える職員が見受けられた。所属長は、職員の時間外勤務を分析して、職員配置や業務分担の再確認等を行うこと。加えて、職員のワーク・ライフ・バランスの充実を図るため、働きやすい職場環境づくりを行い、働き方改革の取り組みを進めること。また、AI技術の活用等による業務改善をはじめとする業務効率化等による時間外勤務の削減に取り組むこと。

## (3) コロナ禍における業務の知識や経験の継承におけるリスク

- ◆新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、観光交流課が所管するイベントの中止や縮小がされているが、こうした状況においてイベントに関する業務の知識や経験の継承に課題は生じていないか。

### リスク発現の可能性（○予防策あり、△可能性あり、×発現）

- △ イベントについては担当者を複数設け、経験者が新たな職員に助言を行うことで、スムーズな業務継承を図り、円滑にイベントを開催できるよう努めている。また、イベントが開催できない期間が続いている状況を踏まえ、人事異動で経験者が不在となることのないよう、人事課には配慮を求めている。

## 意見

人事異動や職員の長期休暇などにより、実際に経験者が不在となり、イベントの実施に支障をきたす事態が生じることのないよう、業務マニュアルの整備や任期付職員の活用等をはじめとして、業務の知識・経験がスムーズに継承できる体制づくりに一層努めること。

## 2 3 E（経済性、効率性、有効性）等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果

### 意見

#### ① 内部事務管理について【合规性の視点】

内部事務の基本的な部分で、いくつかの事務処理誤りが見受けられた。これは、職員の業務に関する知識不足や単純なミスに加えて所属内でのチェック・牽制体制が十分に機能していないことに要因がある。所属長は定められたルールに基づいた事務執行の意識を職員に定着させるとともに、所属において発生しやすいミス等によるリスクを認識させ、日常的に確認すべき事項を定型化して確認するなど、内部チェック体制を整備して、内部事務管理の徹底を図ること。

#### ② 移住支援事業について【有効性の視点】

ア 人口の東京一極集中の是正及び地方の人手不足を解消するため、東京圏から市内へ移住及び就業をした人に対して、移住支援金を交付する事業を実施しているが、実績は0件となっている。令和3年度には国が定める対象範囲が拡充されたこともあり、本市の定住人口を増やすためにも、当制度の周知を図るとともに、イベントなどを通じて本市の認知度の向上に努めること。

イ 四日市市への移住を勧めるにあたっては、交付金をはじめとした金銭的な面をアピールするのみではなく、住むところや働くところも含め、四日市市へ来たたら何ができるのかといった展開を考えたPRを行うこと。

#### ③ 四日市観光協会について【有効性の視点】

四日市市が、観光という点で全国の中で存在感を示していくためにも、四日市市観光協会の体制強化に努めるとともに、協会の在り方についても随時検討を行うこと。

#### ④ 四日市市観光大使について【有効性の視点】

観光大使については、選任期間中に担っていただく役割が重要である。効果的に観光発信を行ってもらうためにも、観光大使による四日市市のPRに費用をかける、再任について基準を設けるなど、現在の観光大使の在り方について検討を行うこと。

#### ⑤ 負担金等を支出している各種協議会等について【有効性の視点】

ア 四日市観光協会、四日市観光・シティプロモーション協議会など、観光に関わる団体が複数ある中で、それぞれの役割や違いが分かりづらくなっている。四日市市が先導して観光の発信を行うためにも、こうした点の整理を行い、スマートな情報提供が行えるよう取り組むこと。

イ 北勢5市5町が参加している北伊勢広域観光推進協議会については、負担金を支出していることもあり、四日市市もしっかりと発言を行い、主導して観光推進に取り組むこと。

ウ 負担金を支出している団体に対しては、構成団体の事業にのみ有益な活動がされることのないよう、四日市市としてもしっかりと発言を行っていくこと。

⑥ 一般財団法人地域活性化センターへの職員派遣の成果活用について【有効性の視点】  
職員を派遣している一般財団法人地域活性化センターの支援メニューを関係部局に情報提供し、地区市民センターが活用に至った事例があるとのことだが、活用の結果についても確認を行い、その後の横展開を図るなど、一時的な効果にとどまらないような取り組みを行うこと。

⑦ 観光資源の有効活用について【有効性の視点】

地元の観光資源を有効に活用するためには、観光資源化して売り込むことが必要である。そのために、具体的な実績の数値を示して民間の協力を求めたり、必要な環境整備を行うよう関係部局に働きかけたりするなど、従来の発想を転換した取り組みを実施すること。

⑧ 観光におけるメディア活用について【有効性の視点】

観光におけるメディア活用として「2020 東海・北陸 B-1 グランプリ in 四日市」とシティプロモーション映像「必見 四日市」シリーズをコラボレーションさせたボイスミックスを製本化し、市内の小学校に配布したところ有用な教材として活用されたとのことであるが、こうした事例がさらに増え、今後の観光推進における資源の発掘・活用につながるよう努めること。

⑨ シティプロモーションの展開と効果的な観光推進について【有効性の視点】

ア シティプロモーションを展開するにあたっては、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行を機に状況は大きく変わってきている。コロナと共生するという新たな時代にあるということを理解し、施策に活かすこと。

イ 観光を推進するにあたっては、どのように四日市市に来てもらうのかという物語を作ることが大切である。そのための様々な素材の活用を含め、散発的なPRに止まることのない、多様な挑戦を通じて観光の推進に取り組むこと。

ウ 東京などで地場製品の販売や情報発信を行う際には、来場者は貴重な情報を提供してくれるということも意識し、情報収集の場としても有効に活用すること。

エ 四日市観光協会が担うことが想定されるバスタ事業の観光に関する業務については、観光に対する民間企業の取り組みを支援するという方法での展開についても検討すること。

## シティプロモーション部 文化課

### 第1 監査の概要

- 1 監査の種類                    定期監査（財務監査・行政監査）
- 2 監査の対象
  - 監査対象部局            シティプロモーション部文化課
  - 対象年度                令和3年度
  - 監査対象事項           財務事務等
- 3 監査等の実施場所及び監査期間
  - 実施場所                四日市市役所 監査委員室
  - 監査期間                令和4年11月21日
- 4 監査の主な実施内容

四日市市監査基準に基づき、監査対象部局への聞き取り調査や過去の監査結果を踏まえて、事務事業に内在するリスクを想定し、リスク発生の可能性や発現時の影響度の観点からリスク評価を行うとともに、財務事務や経営に係る事務の管理が法令等に適合し、正確で、最少の経費で最大の効果を挙げているか、その組織及び運営の合理化に努めているかなどについて、関係帳簿・書類の抽出調査、実査及び監査資料に基づく関係職員への質問等の方法により監査を行った。

### 第2 監査対象の概要

シティプロモーション部文化課の主な業務内容及び職員数（令和4年9月1日現在）は、次のとおりである。

#### 【文化課】

文化課 職員3人	(1) 文化の振興に関すること。
	(2) 文化団体に関すること。
	(3) 文化会館及び泗翠庵に関すること。
	(4) 三浜文化会館に関すること。
文化振興グループ 職員4人 会計年度任用2人	(5) 文化振興基金に関すること。
	(6) 文化功労者表彰に関すること。
	(7) 四日市市文化まちづくり財団との連絡に関すること。
	(8) 文化財の調査及び研究に関すること。
文化財グループ 職員4人 会計年度任用13人	(9) 文化財の保存及び活用に関すること。
	(10) 文化財の指定に関すること。
	(11) 文化財保護審議会に関すること。
	(12) 久留倍官衙遺跡公園に関すること。
	(13) その他文化に関すること（文化財の保護に関することを含む）。
	(14) 課の庶務に関すること。

### 第3 監査の着眼点

- 1 想定されるリスクからの着眼点  
事務事業におけるリスクについて事前調査でのリスク評価や聞き取りにより設定した。
  - (1) リスク評価チェックリストの検証
  - (2) 業務の継承におけるリスク
  - (3) 職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク
  - (4) 統合された所属のため、十分に連携が図られていないリスク
  - (5) 出先機関の備品の管理がなされていないリスク
  - (6) 文化会館の駐車場が満車により駐車できないリスク
  - (7) 埋蔵文化財整理作業所の安全性が担保されないリスク
  
- 2 3E（経済性、効率性、有効性）・合規性等の視点からの着眼点  
事務事業の合規性や正確性のみならず、経済性、効率性、有効性の視点等から設定した。

### 第4 監査結果

上記の着眼点に基づき監査を行った結果、次のとおり、内在するリスクや事務の一部に是正又は改善を要するものなどが見受けられた。今後の事務執行にあたっては、これらに十分留意するとともに、その措置を講じるよう要望する。

なお、措置を講じたときは、遅滞なく報告されたい。

#### 1 想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

##### (1) リスク評価チェックリストの検証

リスク評価調査においては、全般的にリスクが平均的な評価となった。事前調査の結果、事務の一部で不適切な処理がなされていた。

リスク評価チェックリストの該当項目

(評点が4点以上又はリスクの発現が見られたもの：発現していた場合 ○)

旧文化振興課

チェック項目		想定されるリスク	評点	発現
所属の主要な事務事業	事業を行っているか	評価・見直しがなされず、効果のある事業が実施されないリスク	4/4	



支出事務	歳出予算の執行を行っているか	不適切な金額での支出、支出相手側の誤り、支払遅延など支出が適正に行われないリスク	6 / 6	○
	負担金、補助金又は交付金を支出しているか	補助金等が不適正に支出され、又は目的外に使用されるリスク	4 / 4	
契約事務	事業者と業務委託の契約を締結しているか	事業者選定、金額決定、委託業務の管理や評価が適切に行われないリスク	4 / 4	
	指定管理者制度を導入しているか	事業者選定、金額決定、委託業務の管理や評価が適切に行われないリスク	4 / 4	
財産管理	土地若しくは建物又は公の施設を所管しているか	土地、建物、施設が安全に使用できないリスク 保有コストに見合う効果がないリスク 有効活用されないリスク	4 / 4	
基金	基金を所管しているか	設置目的に合致した活用がなされないリスク 適切な運用又は運用益の処理がなされないリスク	4 / 4	
組織・人員	在籍年数の短い職員が多いか	所属において業務に必要なスキル（知識、経験）が継承されず、業務の処理誤りや、不正行為の見落としが発生するリスク	4 / 4	

(評点／リスク最大時評点)

旧社会教育・文化財課

チェック項目		想定されるリスク	評点	発現
所属の主要な事務事業	事業を行っているか	評価・見直しがなされず、効果のある事業が実施されないリスク	4 / 4	
支出事務	歳出予算の執行を行っているか	不適切な金額での支出、支出相手側の誤り、支払遅延など支出が適正に行われないリスク	4 / 6	

契約事務	事業者と工事請負などの契約を締結しているか	事業者選定、金額決定等が適切に行われないリスク	2 / 6	○
	単独随意契約の方法により工事請負若しくは修繕又は業務委託の契約を締結しているか	事業者選定、金額決定等が適切に行われないリスク	4 / 4	○
	プロポーザルによる契約又は特定の地域活動組織との継続的な契約を締結しているか	事業者選定、金額決定等が適切に行われないリスク 委託事業の仕様が不明確なものになり事業目的が達成されないリスク	4 / 4	
財産管理	土地若しくは建物又は公の施設を所管しているか	土地、建物、施設が安全に使用できないリスク 保有コストに見合う効果がないリスク 有効活用されないリスク	4 / 4	○
組織・人員	多くの時間外勤務を行っているか	時間外勤務により、職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク 業務量に対し職員数が不足することにより、業務が停滞するリスク	4 / 4	○

(評点/リスク最大時評点)

## (2) 業務の継承におけるリスク

- ◆学芸員は、ベテラン職員のみでの配置であるが、技術の継承は行われていくのか。また、文化振興事業に携わる職員は所属の勤続年数が短い、業務の継承は行われているか。

### リスク発現の可能性 (○予防策あり、△可能性あり、×発現)

- 埋蔵文化財を専門とする学芸員の採用は、平成14年度以降行われておらず、文化財行政の技術の継承が将来的に困難になることから、人事当局に採用の要望を行っている。埋蔵文化財調査業務を行っている会計年度任用職員は、正職員から指導を受けることや研修を受講するなどし、業務の継承が行われている。また、文化振興事業に携わる職員については、各業務に関するマニュアルを作成し、業務の継承に努めるとともに、バランスのよい職員配置となるよう、人事当局に要望していくとのことである。

### (3) 職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク

- ◆ワーク・ライフ・バランスを推進するため、業務の効率化や休暇取得の促進、時間外勤務の縮減等の職員の働き方の改善がなされているか。

#### リスク発現の可能性（○予防策あり、△可能性あり、×発現）

- × 時間外勤務対象職員 11 人に対して、2 人が年間 360 時間を超える時間外勤務(\*1)を行っていた。

\*1「四日市市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する規則」において、1 年の時間外勤務の上限は、原則として 360 時間以内と規定されている。

#### 意見

職員の時間外勤務が恒常化しており、時間外勤務が年間 360 時間を超える職員が見受けられた。所属長は、職員の時間外勤務を分析して、職員配置や業務分担の再確認等を行うこと。加えて、職員のワーク・ライフ・バランスの充実を図るため、働きやすい職場環境づくりを行い、働き方改革の取り組みを進めること。また、AI 技術の活用等による業務改善をはじめとする業務効率化等による時間外勤務の削減に取り組むこと。

### (4) 統合された所属のため、十分に連携が図られていないリスク

- ◆文化振興課と社会教育・文化財課が統合され文化課となったが、意識共有が図られているか。

#### リスク発現の可能性（○予防策あり、△可能性あり、×発現）

- 平成 17 年度に市民文化課と社会教育課に分離され、令和 4 年度に文化振興課の文化振興業務と社会教育・文化財課の文化財業務が統合し、文化課となりグループ制が導入されている。係に比べ、グループの枠を超えて文化財と文化振興の業務に携わりやすくなり、文化行政やシティプロモーションの推進を促す効果がある。

### (5) 出先機関の備品の管理がなされていないリスク

- ◆出先機関が多数保有している備品について、備品の実査を行うなど、適切に管理がなされているか。

#### リスク発現の可能性（○予防策あり、△可能性あり、×発現）

- △ 出先機関に配置されている職員及び指定管理者は、日頃から管理している備品について把握しており、年に 1 回の備品実査の際には文化課の職員が実査を行っている。

## 指 摘

工事等で更新された工作物が公有財産台帳に反映されておらず、施設により指定管理者に使用させる備品の考え方に統一感を欠いているため整理すること。備品・消耗品のリストを指定管理者と共有し、厳格な財産管理体制を構築すること。また、現在使用していない備品は廃棄し、管理しやすい体制とすること。

### (6) 文化会館の駐車場が満車により駐車できないリスク

- ◆文化会館の駐車場は、催し物が重複すると、満車の状況が見受けられるが、駐車場が足りないのではないか。

#### リスク発現の可能性 (○予防策あり、△可能性あり、×発現)

× 文化会館駐車場の混雑を解消するために、ホームページで駐車場の混雑状況を周知している。また、満車の場合は、一般の契約駐車場を案内しているが、令和3年度に満車により駐車できなかった回数は8回発生している。このため、令和4年度に2箇所、合計34台分の駐車場を新たに借用し、12月19日から供用開始する。

## 意 見

駐車場を拡張したとのことであるが、文化の拠点にはいっそう増設の必要がある。また、バスの駐車場がないことから、中央通りの再編後や、さらなる駐車場所の確保も含め、先を見据えた検討を続けること。

### (7) 埋蔵文化財整理作業所の安全性が担保されないリスク

- ◆建築から約60年経過している文化財整理作業所は、老朽化が著しいが、安全性は担保されているのか。

#### リスク発現の可能性 (○予防策あり、△可能性あり、×発現)

○ 耐震補強工事を施工したことにより、現在収蔵庫として活用できる基準を満たしている。貴重な出土品類の仕分け・保存が必要であり、耐用年数が70年であるため、建て替えの要求を行っているところである。

## 2 3 E（経済性、効率性、有効性）等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果 意見

### ① 内部事務管理について【合規性の視点】

内部事務の基本的な部分で、いくつかの事務処理誤りが見受けられた。これは、職員の業務に関する知識不足や単純なミスに加えて所属内でのチェック・牽制体制が十分に機能していないことに要因がある。所属長は定められたルールに基づいた事務執行の意識を職員に定着させるとともに、所属において発生しやすいミス等によるリスクを認識させ、日常的に確認すべき事項を定型化して確認するなど、内部チェック体制を整備して、内部事務管理の徹底を図ること。

### ② 音楽等情報ステーション推進事業について【効率性の視点】

音楽等情報ステーション推進事業は広報マーケティング課の事業と重複しているところがある。一定の役割を果たした事業は、効率的に見直し、市民の利便性を高めること。

### ③ 文化の拠点について【有効性の視点】

ア 四日市市文化会館と三浜文化会館はそれぞれの役割を果たせるような文化の拠点であること。

イ 泗翠庵等の施設について、公益財団法人四日市市文化まちづくり財団と連携しながら広く周知すること。

ウ 旧四郷村役場の改修後には、また新たな文化の拠点となることから、広く周知し、活用につなげること。

### ④ 情報発信について【有効性の視点】

お茶の産地、萬古焼に代表される伝統産業や、それにまつわる飲食、街や人の動きのストーリーを連動するなど、ポテンシャルを活かし、全国的な注目を集めるよう部局が連携し、SNSの特性も活かして横断的に文化を発信すること。

### ⑤ クラウドファンディングについて【有効性の視点】

旧四郷村役場のクラウドファンディングを令和4年度に行っているが、四日市の歴史文化をストーリー性をもって発信することで、市内出身で成功した企業人等も寄付をしやすい形となるよう努めること。

### ⑥ 御池沼沢植物群落について【効率性の視点】

御池沼沢植物群落内には、地元自治会が管理している土地がある。境界が確定したとのことであるが、土地取得を本格的に検討するなどして保存整備を進めること。

### ⑦ 自動販売機について【住民福祉の向上の視点】

三浜文化会館に設置されている自動販売機について、更新時には災害時無料となる協定を結ぶ等、庁内の先進事例の情報を収集して条件を整備すること。

### ⑧ 久留倍官衙遺跡八脚門北面壁補修工事について【有効性の視点】

人的な要因により八脚門北面壁補修工事が行われたが、今後も同様の行為が発生しないよう留意して管理を行うこと。

# シティプロモーション部 スポーツ課・総合体育館管理室

## ・ハーフマラソン準備室

### 第1 監査の概要

- 1 監査の種類 定期監査（財務監査・行政監査）
- 2 監査の対象  
対象部局 シティプロモーション部 スポーツ課・総合体育館管理室  
・ハーフマラソン準備室  
対象年度 令和3年度  
対象事項 財務事務等
- 3 監査の実施場所及び監査期間  
実施場所 四日市市役所 監査委員室  
監査期間 令和4年11月21日

#### 4 監査の主な実施内容

四日市市監査基準に基づき、監査対象部局への聞き取り調査や過去の監査結果を踏まえて、事務事業に内在するリスクを想定し、リスク発生の可能性や発現時の影響度の観点からリスク評価を行うとともに、財務事務や経営に係る事務の管理が法令等に適合し、正確で、最少の経費で最大の効果を挙げているか、その組織及び運営の合理化に努めているかなどについて、関係帳簿・書類の抽出調査、実査及び監査資料に基づく関係職員への質問等の方法により監査を行った。

### 第2 監査対象の概要

シティプロモーション部スポーツ課・総合体育館管理室・ハーフマラソン準備室の主な業務内容及び職員数（令和4年9月1日現在）は、次のとおりである。

#### 【スポーツ課】

スポーツ課 職員1人 施設係 職員4人 再任用職員1人 会計年度任用1人	(1) 運動施設及び四日市ドームの運営管理に関すること。
	(2) 運動施設及び四日市ドームの整備及び整備計画に関すること。
	(3) 運動施設及び四日市ドームの利用促進に関すること。
	(4) 総合体育館管理室に関すること。
	(5) 課の庶務に関すること。
振興係 職員6人 会計年度任用1人	(1) スポーツの振興及び奨励に関すること。
	(2) スポーツ関係事業の計画及び実施に関すること。
	(3) スポーツ推進審議会及びスポーツ推進委員に関すること。
	(4) スポーツ団体及びレクリエーション団体の指導育成に関すること。
	(5) ハーフマラソン準備室に関すること。

総合体育館管理室 職員 4 人 再任用職員 1 人 会計年度任用 6 人	(1) 四日市市総合体育館の管理運営に関すること。
ハーフマラソン準備室 職員 2 人 任期付職員 1 人 会計年度任用 1 人	(1) 四日市ハーフマラソンの準備及び運営に関すること。
	(2) 関係機関諸団体との連絡調整に関すること。
	(3) 室の庶務に関すること。

(職員 17 人、任期付職員 1 人、再任用職員 2 人、会計年度任用職員 9 人)

### 第3 監査の着眼点

#### 1 想定されるリスクからの着眼点

事務事業におけるリスクについて事前調査でのリスク評価や聞き取りにより設定した。

- (1) リスク評価チェックリストの検証
- (2) 職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク
- (3) 補助金が適切に支出されないリスク
- (4) 管理する施設で事故が発生するリスク
- (5) 公有財産が適切に管理されないリスク

#### 2 3E（経済性、効率性、有効性）・合規性等の視点からの着眼点

事務事業の合規性や正確性のみならず、経済性、効率性、有効性の視点等から設定した。

### 第4 監査結果

上記の着眼点に基づき監査を行った結果、次のとおり、内在するリスクや事務の一部に是正又は改善を要するものなどが見受けられた。今後の事務執行にあたっては、これらに十分留意するとともに、その措置を講じるよう要望する。

なお、措置を講じたときは、遅滞なく報告されたい。

#### 1 想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査の結果

##### (1) リスク評価チェックリストの検証

リスク評価調査においては、支出事務、契約事務、財産管理等において点数が高く、全体的にもリスクは高い評価となった。事前調査の結果、支出事務、文書管理事務について、一部事務処理誤りが見受けられた。

リスク評価チェックリストの該当項目

(評点が4点以上又はリスクの発現が見られたもの：発現していた場合 ○)

チェック項目		想定されるリスク	評点	発現
支出事務	歳出予算の執行を行っているか	不適切な金額での支出、支出相手方の誤り、支払遅延など支出が適正に行われないリスク	6 / 6	○

支出事務	負担金、補助金又は交付金を支出しているか	補助金等が不適正に支出され、又は目的外に使用されるリスク	4 / 4	
契約事務	事業者と工事請負などの契約を締結しているか	事業者選定、金額決定等が適切に行われないリスク	4 / 4	
	単独随意契約の方法により工事請負若しくは修繕又は業務委託の契約を締結しているか	事業者選定、金額決定等が適切に行われないリスク	4 / 4	○
	指定管理者制度を導入しているか	指定管理者制度を導入しているか	4 / 4	
財産管理	土地若しくは建物又は公の施設を所管しているか	土地、建物、施設が安全に使用できないリスク 保有コストに見合う効果がないリスク 有効活用（又は、市民に有効利用）されないリスク	4 / 4	
	土地又は建物の貸付けを行っているか	土地又は建物の貸付けを行っているか	4 / 4	
組織・人員	在籍年数の短い職員が多いか	所属において業務に必要なスキル（知識、経験）が継承されず、業務の処理誤りや、不正行為の見落としが発生するリスク	4 / 4	
	多くの時間外勤務を行っているか	時間外勤務により、職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク 業務量に対し職員数が不足することにより、業務が停滞するリスク	4 / 4	○

(評点/リスク最大時評点)

## (2) 職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク

- ◆ワーク・ライフ・バランスを推進するため、業務の効率化や休暇取得の促進、時間外勤務の縮減等の職員の働き方の改善がなされているか。



### リスク発現の可能性（○予防策あり、△可能性あり、×発現）

× 時間外勤務対象職員12人に対して、6人が年間360時間を超える時間外勤務(\*1)を行っていた。

\*1「四日市市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する規則」において、1年の時間外勤務の上限は、原則として360時間以内と規定されている。

### 意見

職員の時間外勤務が恒常化しており、時間外勤務が年間360時間を超える職員が見受けられた。前年度以前よりは所属全体の平均時間外勤務数が減少しているため、所属長は、引き続き、職員の時間外勤務を分析して、職員配置や業務分担の再確認等を行うこと。加えて、職員のワーク・ライフ・バランスの充実を図るため、働きやすい職場環境づくりを行い、働き方改革の取り組みを進めること。また、AI技術の活用等による業務改善をはじめとする業務効率化等による時間外勤務の削減に取り組むこと。

### (3) 補助金が適切に支出されないリスク

◆スポーツクラブなどを交付先とする補助金事業を数多く実施しており、以前は委託料として支出していた事業について内容を精査したところ、補助金とするのが適切と判断し、令和3年度より新設された補助金もある。これら補助金の補助率や上限額もさまざまであるが、交付決定や支出事務は適切に行われているか。

### リスク発現の可能性（○予防策あり、△可能性あり、×発現）

△ 各々の補助金要綱に基づいて適切な補助金の申請であるかなど判断し、事業計画や事業報告書の内容をチェックしている。また、交付決定や支出の手続きも規則に則って適切に行っている。

### 意見

市独自の生涯スポーツ普及促進策により、競技人口が衰退した種目もある。全国的な状況を把握し、運動と健康の両立等全市的な視点で事業を運営すること。

### (4) 管理する施設で事故が発生するリスク

◆さまざまな運動施設等を所管している所属であり、施設の使用目的上、事故や怪我が発生するリスクが比較的高い。施設の設備の安全性を確保し、少しでもリスクを減らすとともに、事故等が発生した際の対応も重要である。

### リスク発現の可能性（○予防策あり、△可能性あり、×発現）

△ 指定管理施設においては指定管理者が毎年度作成する危機管理マニュアルをスポーツ課で確認し、直営施設はスポーツ課で危機管理マニュアルを作成して、台風などの災害が発生した際をはじめ、事故等が発生した際の連絡先や対応の仕方を定めている。

## 意見

指定管理の施設管理をはじめ、チェックの必要な業務は多いので、所属内でのOJTがとても重要である。施設で事故が発生しないよう、引き続き適正な管理に努めること。

### (5) 公有財産が適切に管理されないリスク

- ◆管理する公有財産が多く、また広範囲に渡って存在していることから、その管理事務量も多い。各施設や設備の保守点検など安全性を確保する業務、公有財産の増減を適切に公有財産台帳に反映させるといった事務上の処理などに不備が生じることはないか。

#### リスク発現の可能性（○予防策あり、△可能性あり、×発現）

△ 施設・設備の保守点検や増減による公有財産台帳の更新は行われているが、指定管理施設が多く処理漏れのおそれもあるため、市職員による定期的な検査が必要である。

## 意見

- ① 管理する施設及び備品等が多く、また利用による破損も生じやすい。巡回では入念に点検し、問題が見つければ迅速に施設修繕等の整備を実施すること。
- ② 支柱を補強した場合など、原課契約工事において工作物の価値に変動が生じた案件についても、適宜、工作物台帳に反映させ、処理漏れのないようにすること。

## 2 3 E（経済性、効率性、有効性）等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果

### 意見

#### ① 内部事務管理について【法規性の視点】

内部事務の基本的な部分で、いくつかの事務処理誤りが見受けられた。これは、職員の業務に関する知識不足や単純なミスに加えて所属内でのチェック・牽制体制が十分に機能していないことに要因がある。所属長は定められたルールに基づいた事務執行の意識を職員に定着させるとともに、所属において発生しやすいミス等によるリスクを認識させ、日常的に確認すべき事項を定型化して確認するなど、内部チェック体制を整備して、内部事務管理の徹底を図ること。

#### ② コロナ禍におけるスポーツイベント等の実施について【住民福祉向上の視点】

令和3年度は、スポーツイベント等を一定程度は実施できたものの、中止となったものもある。今後もコロナ禍は続くことが予想される中、感染防止の工夫をしながら、市民のスポーツの機会を確保するよう努めること。

#### ③ 原課契約工事について【経済性の視点・法規性の視点】

ア 施設などを多く所有しており、その建物や工作物などについて修繕が必要となることで、原課契約工事も多く行っている。状況によっては緊急工事となる場合もあるが、事務取扱要領を遵守し、請負業者の選定や請負金額において、公平性、妥当性を確保していくこと。

イ 原課契約工事として実施している案件の費用について、工事請負費や修繕料とするのが真に適切であるのか曖昧なものがみられる。支出科目を判断する際には、疑義の生じない明確な説明ができるよう整理しておくこと。

④ 新たに整備された運動施設について【経済性の視点、有効性の視点】

ア 三重とこわか国体・三重とこわか大会の準備を契機に整備された新たな大規模運動施設を、大規模大会の誘致等により積極的に利用し、スポーツ振興及びシティプロモーションに資すること。また、大規模大会の誘致等は必要であるが、市民が利用困難になることも想定される。施設の空き情報の提供・予約調整等のほか、民間施設との連携も検討すること。

イ 大規模施設の整備を短期間で行った結果契約金額が高額となり、維持管理を含め財政圧迫が懸念される。費用面での今後の方向性を検討すること。一例として、LEDのリース契約や電力契約の見直し等より経済的な視点を持つこと。

⑤ 四日市ハーフマラソンについて【経済性の視点、有効性の視点】

四日市ハーフマラソンに関し、感染症予防対策のため中心市街地発着を予定していた当初コースの見直しが必要となり、令和4年度には調査費用として4,000万円弱の経費が必要として補正予算が議決されたが、他都市ではすでに開催に成功している事例も多い。今後は、専門家の知見や他大会等の情報収集により課題を迅速に明確にするとともに、事業実施にあってはあらゆる可能性を予見してさらなる費用の上乗せを防ぐこと。

また、中学校の駅伝大会などにも利用できるようなコースについても検討し、シティプロモーション、シビックプライドの醸成につなげること。

⑥ 指定管理業務委託について【合規性の視点】

指定管理業務委託において、市が費用負担すべきことと指定管理者が費用負担すべきことは協定により定めがある。特段の事情があり定めに拠らない費用負担を行う場合は、事前に指定管理者と協議を十分に行って業務を実施すること。

⑦ 総合型地域スポーツクラブについて【有効性の視点】

総合型地域スポーツクラブへの期待は大きく、設立を待って補助する現行の支援体制は脆弱と言わざるを得ない。現状を検証しながら、設立も活動もサポートしていくこと。